

新年のごあいさつ

対馬市長

財部 能成



新年明けましておめでと
うございます。市民の皆さまには、ご健勝にて初春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

皆さまには平素より市政に対し深いご理解とご支援、ご協力を賜わり心より厚くお礼申し上げます。

市長に就任してまもなく2年になるうとしております。昨年は、100年に一度の世界的金融不安の大波の中で年明けでした。本市もその大波の中、非常に厳しい財政状況下での財政運営でございましたが、国の地域活性化・生活対策臨時交付金等を活用した予算編成を行い、地場産業を活かした新規起業家への支援、

航路等の維持再生に向けた取り組みへの支援など、対馬市の経済浮揚のための予算も計上いたしました。新規起業家への支援では、数十名の新規雇用が予定されており、本年も雇用の場の創出を図ってまいります。

また昨年は民主党政権が誕生し、国民の観点から国の予算や制度、役割やあり方などの見直しが行われています。近い将来には従来の国庫補助金を整理して、「一括交付金制度」に変更されること、地方は将来のあり方について、国にも誰にも依存しない体制を早急に構築することが求められています。

このことは、対馬市が進める「地域マネージャー制度」が、国が求めている地域主権型のあり方だと確信しております。「地域マネージャー制度」につきましては、

昨年4月から、市内全域181行政区での取り組みが始まりました。本年も市民と行政が一体となった協働のまちづくりを目指して、市民自らが立案する地域計画策定に向けた積極的な取り組みを推進してまいります。

航路問題につきましては、ジェットfoil2便運航が昨年4月から再開になりましたが、比田勝港への運航は繁忙期に限られているため、通年運航を目指し本

年も運航会社との協議やその他の手段についても調査研究を進めてまいりたいと存じます。また、本年1月よりフェリー、ジェットfoil便については、島民を対象に新たな運賃割引制度が始まりました。さらに、今後は代替船の建造などによる運賃引き下げも検討されているところです。

また、昨年度を「カーボンオフセット事業元年」と定め、将来にわたって対馬の豊かな自然を活かす取り組みを行ってまいりましたが、これらの積極的な環境保全の活動により、昨年末に全国で8市町村だけが認定された「環境王国」の称号をいただきました。九州では対馬市が唯一です。本年も森林、人里、海の3点をセツトにより良い環境づくりに取り組み、対馬の安心安全な産品の流通促進を目指します。

さらに昨年、観光や物産PRのため作成したロゴマーク「くっしまチカラ」やキ

ヤッチコピーを販促ツールとして使用し、対馬の魅力を発信してまいります。なお、このロゴマークとキャラクターコピーはどなたでも使用可能です。対馬市のホームページからダウンロードできますのでご利用ください。

今後も市政推進に対しまして一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が皆さまにとりまして素晴らしい一年となりますようご祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。



新年のごあいさつ

対馬市議会議長

作元義文



新年あけましておめでと
うございます。

市民の皆様におかれましては、平成22年の新春をこ
と心からお慶び申し上げます。年頭にあたり市議会
を代表して、謹んで新年の
ごあいさつを申し上げます。
市民の皆様には、日ごろ
から市政及び議会活動に対
して深いご理解と温かいご
支援を賜り心より厚くお礼
申し上げます。

私たち22名の議員は、昨
年5月に執行されました一
般選挙において、市民の皆
様の絶大なるご支持を受け、
新しい議会議員として6月
より活動を始めたところで
あります。6月9日の初議

会（臨時会）において、正
副議長が選出されたのをは
じめ、3常任委員会、議会
運営委員会などの議会構成
が決定いたしました。これ
まで定例会3回、臨時会3
回が開催され、提案された
議案について慎重に審議を
進め、市長部局と一体にな
って、対馬の活性化のため
の議論を続けてまいりまし
た。3常任委員会も各地域
の実情を細かく理解すべく、
自ら足を運んで所管事務調
査を精力的に実施し、それ
ぞれの専任重要課題に積極
的に取り組んでいます。

さて、対馬も相変わらず
厳しい経済状況が続いてお
り、第1次産業の低迷、特
に真珠養殖を含む水産業は

厳しい状況にあります。ま
た、公共工事の大幅な減少
は、若年層の島外流出を一
層進行させ、過疎化と高齢
化に拍車をかけている状況
にあります。低迷する水産
業や農林業の打開策として、
国は海洋基本法に基づいて
国土保全の観点から対馬な
ど外海離島保護のため、島
の森林資源や周囲の海洋資
源を保護するために動き出
すと言われております。海
の方では、乱獲防止や小型
漁船を保護する観点から大
中巻き網や沖合底引き網等
への国の規制がかけられる
など、離島漁業への再生が
図られることに期待をして
いるところであります。

このような状況にあつて、

9月の定例会で議会に国境
離島活性化対策特別委員会
と国県道路整備促進特別委
員会の2つの特別委員会が
設置されました。特に、国
境離島活性化対策特別委員
会は、「防人の島新法制定
に関する事」と、「自衛隊
誘致増強に関する事」の
2点を目的にしております。
国境離島の問題を一地方の
問題ととらえることなく、
日本全土の問題ととらえ国
境の島を守り活力を与える
ことは、国土を守っていく
ことに通じるとの観点から、
国境離島地域の問題解決や
地域振興に向けた新法の制
定を国や県に強く要望して
います。

昨年、城岳トンネル（上
対馬町）、どう坂バイパス
（上県町）及び内山坂トン
ネル（厳原町）などが開通
し、厳原町豆酛地区が「に
ほんの里100選」に、ま
ちづくり厳原が「新・がん
ばる商店街77選」に、朝鮮
通信使行列振興会が「サン
トリー地域文化賞」に選ば

れるなど、関係者皆様のご
努力によりまして地域振興
に大きな発展がありました。
市政の重要施策のひとつ
である「地域マネージャー
制度」も昨年4月から全域
で始まり、住民と職員が一
緒に汗を流し、生活に身近
な課題の解決や地域のある
べき姿などについて、共に
話し合い、共に行動する制
度として期待を寄せていま
す。

私ども対馬市議会といた
しましては、より豊かな住
みよいふるさとづくりを目
指して、今後さらに創意工
夫を重ね、市民皆様方のご
期待に応えるよう決意を新
たにしておりますので、ど
うか本年も相変わらぬご支
援とご協力を賜りますよう、
心からお願ひ申し上げます。
終わりに皆様のご健勝と
ご繁栄を心よりお祈りいた
しまして、年頭のごあいさ
つといたします。